

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ITC堺物流センター	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市堺区築港八幡町1番14号	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定無し	平均居住人員	952 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,616 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年3月20日
敷地面積	54,003 m <sup>2</sup>	作成者	新日鉄住金エンジニアリング
建築面積	32,040 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月20日
延床面積	124,939 m <sup>2</sup>	確認者	新日鉄住金エンジニアリング



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+オフサイト手法	73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.7	Q3のスコア = 2.9
音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.	機能性: N.A. 耐用性: 3.2 対応性: 4.2	生物環境: 2.0 まちなみ: 4.0 地域性: 2.5

**LR のスコア = 3.6**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.8	LR2のスコア = 3.9	LR3のスコア = 3.1
建物の: N.A. 自然エネ: 3.0 設備システ: 5.0 効率的: 3.0	水資源: 3.4 非再生材料の: 3.9 汚染物質: 4.3	地球温暖化: 4.0 地域環境: 3.0 周辺環境: 2.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄骨制振構造の大型物流センター施設。効率の良い車両動線、トラックバス、待機車両駐車場により周辺交通の影響を考慮した。敷地内に豊かな緑地空間を確保し、周辺環境向上に寄与し、優れた高耐久性外壁材の採用で地球環境に配慮した施設とする。</li> <li>多数のテナント入居のための高い天井の採用、各階バス配置等優れた倉庫機能を確保。</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> 用途が倉庫のため評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ・多目的トイレを設けバリアフリーに対応。 ・高い階高、低い壁長さ比率、大きな床荷重設定などにより拡張性に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> ・大空間に見合う換気計画により省エネを図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・地中障害物撤去や基礎工事で発生する現場発生土は、場外に搬出せず敷地内の地盤整備として再利用を図る。 ・内装材と駆体の分離が容易で、設備シャフトを確保し、リニューアル時における部材
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・前面道路並びに敷地外周部に緑地帯を設け、自然環境の回復・再生に寄与する。 ・製鐵所の跡地である敷地なので、金属製の外装を全面に施し景観に配慮した。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼機器を使用しないため、敷地外に大気汚染物質の排出を行わない。 ・中高木植樹による地表面被覆の確保、隣棟間隔による通風性の確保により、温熱環境を改善する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)ITC堺物流センター	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区築港八幡町1番146、1番175、1番176	1.7	A
	主用途/延床面積	工場 / 124,938.82 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
省エネ対策	評価項目	スコア	評価点	
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	0.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2	
	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0		
	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	2.0		
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	0.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.2
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	